

3年A組 美術科学習指導案

授業者 高橋 敏一

- 1 題 材 名 「メッセージを感じる～大阪湾のチヌ～」(鑑賞)
- 2 本時の目標
- ・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとする。
 - ・造形的なよさや美しさ、廃材の特性や機能を基にした主題と表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わうことができる。
- 3 本時の流れ 本時1/1時

段階	学習内容	支援上の留意点	評価規準と評価方法
導入 5分	1 チヌ(クロダイ)の画像を見る	・本物のチヌはどのようなものなのかを図で示し、鑑賞する作品と比較できるように支援する。	
展開 40分	2 課題Ⅰの提示 「チヌの作品」を鑑賞しよう		<p>【関心・意欲・態度】 「大阪湾のチヌ」の全体や部分の材料の性質を感じ取ろうとする。 (学習シート・行動観察)</p> <p>【鑑賞の能力】 「大阪湾のチヌ」の全体や部分の材料の性質を感じ取ることができる。 (学習シート・行動観察)</p>
	(個人作業、グループ)	・学習シートの記入の仕方を示す。	
	3 「小さいチヌ」の作品を鑑賞	・各作品に使われている材料のパーツ、色や形の違いに気付くよう支援する。	
	4 3に対する発表	・作品に使われている材料が、各作品で、どのようなもののまとまりであるのかに注目させる。	
	5 「大阪湾のチヌ」を鑑賞	・作品に、どのような感情が感じられるか考えさせる。(例：錆びた棒などで表現された背びれが、焼け焦げたみたいで悲しい。)	
	6 5に対する発表		
	7 課題Ⅱの提示 「津軽石の〇〇」を考えよう		
8 アイディアスケッチ (グループ、個人作業)	・どんな廃材があるのかを考えさせる。 ・廃材を見せたりして、形の特徴を生かしてアイディアを考えるように支援する。		
9 グループごとに全体発表			
終結 5分	10 本時の振り返り	・生徒の発表をもとにした学習内容の振り返りを行い、本時の内容を確認させる。	
	11 次時の予告		

4 指導にかかる思い

日常で捨てられたものは何も手を加えなければ単なる廃材であるが、何らかの意図をもって組み合わせた瞬間に、造形的メッセージをもたらす。その素材、色彩や形による感情を生徒たちに考えさせる。廃材が造形物としてアートになることや、造形的価値を見出すことができるということを知らせる。